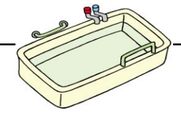
大腿骨転子部骨折に対し骨接合術を受けられる患者様　　手術日（　　月　　日）　時間（　　：

患者様用

患者様氏名　　**主治医**　　**受持ち看護師**（　　）

月日(日時)	／	／	／	／　～　／	／　～　／	／　～　／
経過(病日等)	手術前日	手術当日	術後1日	術後2～3日	術後4～6日	術後1～2週
達成目標	手術に対する理解ができ、必要物品の準備ができる	手術の準備が整っている 傷の痛みや他の苦痛が和らぐ	下肢のしびれや冷感が無い 車椅子で移動できる 痛みのコントロールができる	痛みのコントロールができる リハビリをすることができる		(転棟基準) 痛みやしびれなど問題が無ければ転棟になります
治療・薬剤 (点滴・内服)	必要に応じて鎮痛剤を使用(坐薬)します 20時に、下剤を内服します	6時より、点滴があります。 朝の薬がある方は、看護師の指示で内服して下さい 手術後、必要に応じて鎮痛剤を使用します	点滴があります。 必要に応じて鎮痛剤を使用(坐薬)します お薬のある方は、朝から内服ができます	点滴・注射があります。 		
処置	点滴の針を挿入します 弾性ストッキングのサイズを測定します	6時に、浣腸を行ないます 手術後、弾性ストッキングをはきます	創のガーゼを外します 透明のテープを貼ります			手術後1週間目で、抜糸があります。
検査	必要に応じて血液検査があります。		血液検査があります	血液検査があります X線撮影があります		血液検査があります X線撮影があります
活動・安静度	痛みに応じてベッド上で動くことは出来ます	手術後は、ベッド上安静です	ベッド上で座れるようになります 車椅子で移動できます			
食事	食事は夕食までです。 	手術4時間前まで飲水できます。 手術の後、嘔気がなければ水またはお茶が飲めます	朝から食事が開始されます 通常の食事が出来ます	→ 	→	→
清潔	看護師が身体を拭きます	手術前に看護師が身体を拭きます	看護師が身体を拭きます	→	→	傷口の確認後シャワー浴可能となります 次第に入浴が出来るようになります 
排泄	排便の確認をします	手術の後は尿の管が入ってます	尿の管が抜けてからトイレでされてかまいません			
患者様及びご家族への説明 生活指導 栄養指導 服薬指導 リハビリ	病棟の看護師が手術について説明致します 主治医より手術の説明があります 手術室の看護師が説明に伺います	術後に主治医から手術の結果と今後について説明があります 痛みがある時は、我慢せず看護師にお伝え下さい 	理学療法士がお部屋に伺い病棟で訓練します あせらずに頑張りましょう	リハ室で訓練を開始します 平行棒内での起立から徐々に歩き始めます けがをされる前の状態を目標に頑張ってください		

注）入院期間については現時点で予想される期間です。この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

余市協会病院　H28年　6月　作成